



8月の神奈川学習センター敷地内に咲く花

目次

磁石の不思議.....	2
センターだより 創刊 100 号 記念特集	
「神奈川学習センターだより」の発刊スタート - 100 号記念連載第 2 回 -	4
卒業研究履修ガイダンス	5
地域連携ウォーキング	5
マレーシア公開大学との学生交流会	6
令和 7 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧	7
学生生活に関するアンケート	8
K-サポートからのお知らせ	9
学生サークルからのお知らせ、神奈川サークル協議会、神奈川同窓会だより	10
神奈川学習センターからのお知らせ	12

磁石の不思議



放送大学神奈川学習センター客員教授

山本 勲

1 はじめに

これまで長年、磁石としての性質やその応用の分野に関わる研究を行ってきました。磁性研究と一口に言っても、その領域は多岐にわたり、研究者それぞれで興味は様々です。研究者も皆さんと同じように、幼いころに砂場に磁石を突っ込んで砂鉄を集めて遊び、磁石がスチール缶に付くのにアルミ缶には付かないことを不思議に思ったことでしょう。本稿では、磁性に馴染みがない方々にも楽しく読んで頂けるように、磁石に関する歴史などを紹介します。

2 磁石の歴史

中国、北宋の沈括なる人物が11世紀に記した夢溪筆談という科学随筆集に、磁石が「慈石」として登場します。母子のように引き合う様子から慈という字が充てられたと言われています。皆さんご存じのように磁石は方位を示すコンパスとして働き、南を示すことから「指南」という言葉が生まれたようです。その頃、北半球では温暖で作物が良く採れる南の地域が重要と考えられていたため、指北ではなく指南なのですね。コンパスによって広い洋上で方角を知ることができるようになって、15世紀の大航海時代にアメリカ大陸の発見や世界一周航海がなされました。このような世界観の一新は磁石史上最大級の人類への貢献だと思えます。

100円ショップで手に入る磁石は2種類あって、お馴染みの黒い磁石がフェライト磁石と呼ばれ、主成分は酸化鉄です。もう一つの種類は、銀色のとても強いネオジム磁石で、40年ほど前に日本で開発されました。水に弱いこともあって銀色にコーティングされています。縫い針、スチール製クリップ、ホチキス（ステープラー）の針など細長い鉄は磁石でこすると磁石になってコンパスとして働きます。実は同じ鉄でも結晶構造によっては磁石にならない鉄もあります。ステンレススチールは、鉄にニッケルやクロミウムを混ぜて錆び難くした合金ですが、配合などによって磁石に引っ付くものもあれば、付かないものもあります。ご家庭のフォークやスプー

ンなどステンレス製品が磁石に付くか付かないか、試してみてください。我が家のフォークは2本だけ付きました。身近な意外なものも磁石に付きます。菓子袋に入れてある黒い脱酸素剤や使い捨てカイロは良く付きます。紙幣の印刷インクには鉄が含まれていて、特に福沢諭吉の札はネオジム磁石を近づけると僅かに引かれることを視認できます。

3 磁石の性質

棒磁石はN極が赤、S極が青で塗られていて、N極とS極は引き合いますが、同じS極同士またはN極同士は反発します。これが磁石の第一の特徴です。地球が大きな磁石だって聞いたことはありませんか？地球を棒磁石に例えると、実は北極（North pole）がS極で南極（South pole）がN極です。反対じゃないのって思われるかもしれませんが、磁針のN極が指し示す北極方向にS極があり、S極が指す南極方向にN極があります。ここで、磁石のN極からS極へ磁力線という目に見えない線が何本も走っていると想像してみてください。大きな地球磁石の地表や海、空には南北に磁力線が走っています。磁力線と平行になるように磁針が回転するので、南北の方位を知ることができます。地球の磁場である地磁気によって磁針が回転すること、即ち磁場で磁石が一定の方向に回転することを「磁気配向」と呼びます。これが磁石の第二の特徴です。回転させる力を磁気トルクと呼びます。磁場中で物体を動かしたり回転させたりするには磁場が何らかの力を及ぼす必要があります。

4 磁場の3つの力学的作用

磁場が物体に及ぼす力学的作用は3つあります。1つ目は先に述べた「磁気トルク」です。磁針のように必ずしも磁力線に沿う方向に配向するとは限りません。物質の磁気特性と磁場のかけ方で配向方向を制御することが可能です。例えばタンパク質のX線結晶構造解析にはそこそこ大きな単結晶が必要ですが、回転磁場という特殊な磁場を用いることで、

大きな単結晶に似た物質を作ることができます。

2つ目の「磁気力」には、磁石のN極とS極の異極が引き合う引力、または同極同士の反発力があります。磁化力とかケルビン力とも言われます。磁気力は周りを見渡してみるとたくさん使われています。例えばホワイトボードに張り紙が磁石の磁気力で止められ、カバンの口や観音扉が磁気力で閉じられています。昔ながらのリンリン鳴るベルも磁気力の応用装置です。これらは棒磁石で砂鉄を集めることと同じ磁気引力の原理によるものです。JR 東海が建設中のリニア新幹線では1両24トンもの車体を磁気反発力で10cm浮上させつつ、リニアモーターの磁気引力で500km/hの高速で走らせます。

磁石で持ち上がる鉄などを強磁性体と呼びます。鉄ほど磁石に付きませんが、磁石にちょっとだけ引かれるアルミニウムやプラチナなどを常磁性体と言います。逆に磁石から逃げたがる金、銀、銅、グラファイト（鉛筆の芯）、水などは反磁性体です。常磁性体と反磁性体をまとめて非磁性体または弱磁性体と言います。弱磁性体をヤジロベエの先に吊るしてネオジム磁石を近づけると、弱い磁気力を観察できます。例えば、水分が多いミニトマトは反磁性なので磁石から逃げるように動き、アルミ製の1円玉は常磁性なので磁石に引かれてゆっくり動き出します。このように物質の磁性によって磁気引力や磁気反発力の大きさが異なるので、強い磁場を使えば塩と砂糖が混ざった粉からそれぞれを分けることもできます。水に溶けている貴重なイオンを磁場によって濃縮や回収することが研究されています。

3つ目の「ローレンツ力」は、磁場中で電流や電荷をもった物体が動くときに働く力です。大学入試で電磁気に頻出の分野ですね。本稿では紙面の都合で詳しく述べませんので、高校物理の教科書を参考にしてください。フレミングの左手の法則に従って、磁力線方向と移動方向の両方に直交する方向に粒子が力を受けます。現象や実験式は以前から明らかでしたが、その正体については2016年に日本人によって解明されました。

5 地磁気と強い磁場

コンパスが地上で南北を向くように、どんな物質も磁場中で向きたがる方向があり、方向を揃えることで機能を引き出したり付与したりすることができます。強磁性体は地磁気の弱い磁場で南北を向きませんが、弱磁性体にかかる3つの力学的作用を観察したり応用するにはとても強い磁場が必要になります。

磁場の強さは磁束密度という物理量で表し、その単位は「T（テスラ）」です。地表での磁束密度である地磁気は $50\mu\text{T}$ （マイクロテスラ）程度です。

最も強い永久磁石であるネオジム磁石の表面の磁束密度は1Tで、地磁気の2万倍です。永久磁石よりさらに強い磁場を作るには電磁石を使います。銅線をぐるぐる巻いたコイルに電流を流して作れる磁場は20Tで、地磁気の40万倍です。大きな電流を流すほど強い磁場を作れますが、残念ながらこれ以上電流を流すとマクスウェル応力という力が働き、銅線が引きちぎられてコイルが爆発してしまいます。超電導線のコイルで作る20Tの磁場と組み合わせることで最大40Tの磁場を作ることができます。

もっと強い磁場を作るために、コイルが爆発する寸前まで大電流を一瞬だけパルス的に流します。こうして得られるパルス磁場は80Tに達します。さらに強い磁場を得るために様々な工夫がなされてきました。コイル爆発を前提に大電流を流すワンターンコイル法では130T、電磁濃縮法では1200Tが得られ、日々、物性研究に利用されています。過去には旧ソ連邦が爆薬を使った爆縮法という物騒な方法で2800Tという人類のチャンピオンデータがあります。宇宙に目を向けると中性子星は 10^8T （1億テスラ）以上という磁場だそうです。中性子星はある条件で 10^{11}T （千億テスラ）以上の磁場を持つと計算され、マグネター（超強磁性星）と呼ばれます。マグネターのそばに近づいてはいけません。地球と月ほどの距離に近づくだけでクレジットカードの磁気テープがいかれます。マグネターに大気は無いでしょうが、地球の大気圏ほどの距離まで近づくと体がバラバラになってしまいます。なぜでしょうか、考えてみてください。ヒントは磁気力、答えは11ページです。

おわりに

全ての生物は地球上で地磁気に晒されて生きていますが、人間は地磁気を意識できません。自身でいろいろ試しましたが強いテスラオーダーの静磁場を感じることはありません。（ただし時間的に変動する磁場は、電磁誘導によって体内に電流を誘導するので、神経や筋肉を刺激します。）

しかしながら、走磁性細菌というバクテリアは体内に磁石を保持し、地磁気に沿って移動します。渡り鳥や回遊魚は、頭部の磁気センサーで地磁気を感じて移動タイミングや移動方向を感知すると推測され、研究が進んでいます。バクテリアも人間も、全ての生物はいろいろな意味で磁場を利用して生きています。本稿をお読み頂き、少しは磁石や磁場とフレンドリーになれたでしょうか。最後に、分かりやすい表現に努めたため、科学的にはいささか不正確な文章になってしまったことをご詫言申し上げます。

センターだより 創刊 100 号 記念特集

「神奈川学習センターだより」の
発刊スタート

- 100 号記念連載第 2 回 -

放送大学名誉教授 坂井 素思



「神奈川学習センターだより」準備号に続いて、創刊号が発行されたのは、1998 年 4 月でした。「はるだより、なつだより、あきだより、ふゆだより」という季節ごとの通信が作成されることになりました。

このセンターだよりの提案は、学生たちやわたしの提案でしたが、発刊に当たって、センター所長であった浜口允子先生の後押しが効きました。放送大学神奈川学習センターのニューズレターが、ここに創刊されることとなりましたと紹介された後、創刊の辞での「志を同じくして、共に学んでいる方々が、情報を共有し、互いによきメッセージを送りあう場とするためです」という言葉が決定的でした。「互いによきメッセージを送りあう場」という考えはスタート時点のセンターだよりとしては、破格の発進フレームでした。

たとえば、次のような「送りあう」記事が初期のころのセンターだよりに載りました。T さんが特養ホームに入所しながら、放送大学の授業を受けているという本人の記事でした。それに対して、読者からの質問を募ったところ、H さんから同じく特養ホームに入っている父親の状況と同時に、T さんへのさまざまな質問が寄せられたのです。編集部ではただちに T さんからの回答を得て、往復書簡として掲載いたしました。

そのころには、全国の学習センターでもちらほらとセンターだよりが発刊され始めていましたが、

多くはセンター側の所長挨拶や教務情報や講演会情報の伝達のための、あるいは公認同好会のお知らせのためのものであり、いわば一方向的な伝達が多かったのです。もちろん、これだけでも孤独な学習に陥りがちな放送大学学生に対して、有効なコミュニケーション手段となりうる可能性は十分にありました。

けれども、これに対して、先ほどの T さんと H さんのように、「読み手が書き手である」という「送りあう場」を作り出すことをモットーとして、双方向の場を設けたのが神奈川学習センターだよりの特色でした。載せられた記事すべてが、ほんとうに「互いによきメッセージ」であったと思えるつもりは毛頭ありませんが、それでもスタート時に持った目標はかぎりなき理想の姿であったことは間違いのないと思います。「読者が筆者、筆者が読者」という方針は放送大学のような生涯学習の場でこそ生きるものであると思われまじ、今のセンターだよりでもこの理想は堅持されてきています。できれば、「よき読者がよき筆者を生み、よき筆者がよき読者を共感させる」ような当初の理想を今後も追究していただきたいと思っています。

また加えて、学生たちがセンターだよりを通じて、このようなローカルな場での応答を繰り返すことの利点があると思います。やはり放送大学は通信による大学教育の場なので、教養学部ではありますが、科目選択では個人の嗜好や仕事の都合に合わせてしまうため、どうしても専攻する専門分野に個人的な偏りがあります。全員がすべてのコースを卒業するような名誉学生にそう簡単になれるわけではありません。それでも、もちろん情報における SNS やブログほどではないにしても、昨今言われるようになった情報の病理現象が生じてしまうのは避けたいものです。

たとえば、自分の好みに応じた情報だけを聞いて、自分のなかでそれがバブル現象を起してしまうような「フィルターバブル」現象や、情報がこだまのように人びとの間に反響して増幅してしまうような



「エコーチェンバー」現象などの、社会で言われるほど深刻ではないものの、小さな波濤は放送大学が放送やネットを通じてのメディアを利用している以上、かなりの確率で起きる可能性があるといえます。そのときに、学習センター規模や同好会規模の小さな規模の集団であればこそ、互いの意見交換を行うことによって、他者の異なる意見や考え方を知るこ

とができるでしょう。このことは、小さな影響力ではありますが、考え方の偏りを予防してくれるかもしれません。もっとも過剰な期待は禁物ですが、それでも多様な社会状況や学生仲間の学習状況について、紙面を通じて知り互いの体験を語り合うことができることは、得難い仕組みといえるのではないのでしょうか。(第3回へつづく)

卒業研究履修ガイダンス



2025年6月21日、神奈川学習センターの卒業研究ガイダンスが、Web開催された。

はじめに大谷所長より、「大学は、新しい知を作るのが目的である。卒業研究で新しいものを作って発表することは、一番大学らしい学び方。ぜひ履修してほしい」とお話があった。

本部学生課からは、卒業研究履修の手引に沿った事務手続きについての説明。そして、心理と教育コースの森津太子教授から、実際の卒業研究はどのように進めたらよいか?についてお話があった。

卒業研究は、小さなテーマで確実にやり遂げる。教員から直接指導を受けられる貴重な機会を有効に

生かし、研究とはどうやって進めてゆくのかな?ということを知るのとよい。予想通りの結果でなくても立派な研究、客観性を担保することは重要とアドバイスをいただいた。

森教授が指導する研究テーマは、すべて実証研究。方法論は重要という。指導は対面かWeb会議、2回に1回は、ハイブリッド方式で行っている。

2025年度の例では、4月26日から9月28日まで6回のゼミを行い、10月5日のゼミ内で締め切り、個別指導等を行った後11月1日に提出。心理学系のゼミ合同で口頭試問会を12月はじめに開催する。

つづいて、大谷所長から所長面談などについて説明があり、「森先生は心理学、私は工学ですが、卒業研究は『プロセスが大事』ということは、共通している。また、事前に放送授業の『日本語アカデミックライティング』を学習すべきということも共通」と話されました。最後に先生方への質問を中心に質疑応答が行われ、閉会した。

地域連携ウォーキング

K-サポートには地域連携チームがあります。地域と連携する手段はいろいろと考えられますが、私たちは放送大学生だけでなく地域の一般の方も参加できるウォーキングを年一回企画し実施しています。

- これまでのコースとしては、
- ・弘明寺からみなとみらい地区まで大岡川沿いを歩くコース
 - ・鎌倉の朝比奈切通しを踏破するコース
 - ・金沢八景地区をめぐるコース
 - ・浦賀地区をめぐるコース
- などを実施しました。

毎年春頃からチームメンバーがコース下見や資料収集などを行い、秋の本番の日には、ガイドとなって参加者をご案内します。参加者の方々とコミュニケーションを楽しみながらコースを進みます。ある年には、ゴール地点の観音埼灯台で「喜びも悲しみも幾年月」、また別の年は、港の見える丘公園で「港が見える丘」を皆で歌ったこともあります。



地域の歴史を語るにふさわしい神社仏閣などをウォーキングの途中で訪れることは言うまでもありません。しかし、つい見落とししてしまいがちな道祖神や庚申塔などの石塔も、いつ頃どのような方々によって建立されたものか、調べてみるといろいろとみえてきます。また、信仰の対象ではない道路境界石でも、なぜこの場所にあるのかを調べていくと興味深い事実が出てきたりもします。可能な限りこのような場所も紹介できればと考えています。

数時間のウォーキングと私たちのガイドでは、残念ながらすべてをご案内することができません。気になることがあれば、ぜひ、ご自身で図書館の郷土史コーナーなどを活用し、何らかのかたちで学びのきっかけとさせていただければ、これほど嬉しいことはありません。(田代 和嘉)

マレーシア公開大学との学生交流会

話は濱田先生の2月10日付メールから始まりました。神奈川学習センター見学希望のマレーシア公開大学（OUM）ゲスト数名の受け入れをサークル協議会で引き受けてもらえないかというもので、岩永学長から濱田先生へ丁重な対応依頼のメールが添えてありました。濱田先生からのお話をお断りする選択肢は当然なく、すぐに内部協議をして引き受ける旨回答しました。ただ、この話がなぜ本部のお膝元・千葉 SC もしくは文京 SC に行かなかったのか腑に落ちず、本部担当部署に電話で質問したところ、初めに千葉、文京に依頼したが固辞されて困っていたところ助けていただいたと大変感謝されたことに驚きました。

OUM の訪問メンバーと交流目的に関する情報を受け取ったのは3月24日、交流会の4週間前でしたが、ゲスト3名は副学長とディレクターという職位名の付いた幹部教員であり、交流のテーマは“Best Practice on ODL(Open Distance Learning)”ということで、その内容はわたしたちの当初の想定を大きく外れるものでした。学位・資格の取得を目指す青少年のための OUM 幹部教員、かたや OUJ

を生涯教育の場とする社会人 OB、残念ながら今回の交流会がミスマッチであることは明らかでした。そのような次第で、とにかく遠いマレーシアからの客人に寂しい思いだけはさせないようできるだけ多くの学生でにぎやかに迎えすることを第一義として臨むことになりました。



当日は目標の20名を上回る24名の学生が参加して活気のある会場となり一安心。また、OUM 幹部は何と上品な中間色のヒジャーブで頭部を包んだ優雅なムスリム女性たちだったこともサプライズでした。15分程度の所内施設見学の後、交流会が始まりました。予定通りのサークル紹介ビデオを映した後、いよいよミスマッチの本番に移ろうとした時 OUM 側から出された提案は3つの小グループに分かれて学生にインタビューをしたというものでした。会場にはそれぞれゲスト1名を囲んだ7~8名の輪が3つ速やかに作られて、その輪の内側にはなぜか親密な空気が生まれ、ぎくしゃくしつつも活発な会話が交わされ始めたのでした。かくして交流会は全く予想しなかった展開に進んで行き、空しいミスマッチの懸念は拭い去られました。そうして結果的には今回

の交流会が、OUM ゲストにとっても参加したわたしたち学生にとっても、楽しく意味深い催しとして終了することができたのでした。

曰く「終ワリ良ケレバ全テ良シ」と。

(真野 憲助)



マレーシア公開大学の訪問を受けて

マレーシア公開大学（OUM）の方が放送大学を訪問されました。日本の通信制の大学の実情を知りたいとのことで、3名の方が神奈川学習センターを訪れました。学生の生の声を聞くため、3つのグループに分かれそれぞれの研究テーマについて話し合いました。私達のグループのテーマは生涯学習についてでした。最初に簡単な自己紹介をし、様々な質問を受けました。「何故退職後も学び続けるのか」、「違う世代間でコミュニケーションに問題はないか」、「モチベーションの維持の方法」、「面接授業や放送授業の違いについての感想」、「学ぶことについての家族の反応」など色々なことについてお話をしました。OUMは仕事をしている世代の方がキャリアアップのために通う大学であるため放送大学との違いにとっても興味を持たれているようでした。会話は英語で行われたため英語の苦手な私は少し苦労もしましたが、ファーストネームで呼び合ううちに緊張も解け、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。マレーシアの方とのお話はもちろんのこと、一緒に学んでいる仲間達の勉強などについての話など普段聞くことがなかった話も出来、面白かったです。国や文化、宗教やバックグラウンドなどが違っても学ぶことの喜びは同じであり、今後も学び続けていきたいと思います。(井上 ふみ)



令和7年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧

神奈川学習センターのゼミは、所長、客員教員が主催する勉強会です。自由な雰囲気、先生からの指導、学生相互の意見交換、親睦を深めることができます。

ゼミへの参加を希望される方は、神奈川学習センターウェブサイトのトップページに掲載の「神奈川学習センター実施のゼミのご案内」のリンク先から、注意事項を確認のうえ申請を行ってください。

◆ 神奈川学習センター客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日
安藤 孝敏	生活の中の老年学	老年学（ジェロントロジー）は、高齢者の生活にかかわる問題などを解明し、より良い高齢社会をデザインするための学問です。このゼミでは、日常生活の中にある高齢社会の様々な問題について、ゼミ生と一緒に考えていきます。	毎月第3水曜日 学生との調整により変更もあり
大谷 英雄	リスクを考える	現代はリスク社会と言われ感染症のリスクや自然災害のリスクなどがマスコミでも取り上げられることが多いが、一方でリスクはあるかないかを議論するものではなくて大きい小さいかが議論されるべきものであるのに、あるかないかが議論されていることが多いように感じられる。このゼミではリスクの捉え方や伝え方などについて議論していきたい。	毎月第3火曜日 学生との調整により変更もあり
大矢 勝	洗浄科学ゼミ	洗浄を通して科学的な態度を楽しむ姿勢を身に付けることを目的として、毎回洗浄に関する別のテーマを設定し、それぞれの有効な洗浄方法とその仕組みについて考えていきます。 ※開講期間 2025年10月1日～2026年1月16日	毎月第2または第3木曜日
間嶋 隆一	地質学・古生物学ゼミ	地質学と古生物学に関する勉強と野外実習や見学の実施。	最初のゼミ日に日程調整します

◆ 元客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日
植村 博恭	グローバル時代の社会と経済政策	本ゼミナールは、グローバル時代の社会と経済政策のあり方について学びます。特に、様々な身近な問題を毎日働き暮らしている生活者の視点で考えていきたいと思えます。日本企業における働き方の改革、男女平等社会の実現、退職後の安心できる暮らし、個人資産の有効な管理と運用などを取り上げつつ、私たちひとりひとりの生活を支えてくれる経済政策のあり方はどのようなものか、勉強していきます。特に、若者、中堅世代、高齢者、女性、男性といった様々な世代の市民の観点からゼミを進めて行きたいと考えています。	毎月1回程度 金曜日 (Zoom及び対面)
高橋 邦年	英語基礎ゼミナール ※現在、新規のゼミ生の募集は行っていません。	毎回2.5時間（休憩10分）の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行う。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	基本的に毎月第2土曜日 あるいは第3土曜日

学生生活に関するアンケート

K-サポート機関誌編集チーム

4月6日に神奈川学習センターで開催された「2025年度第1学期入学者の集い」の参加者に対して、「学生生活に関するアンケート」を実施しました。

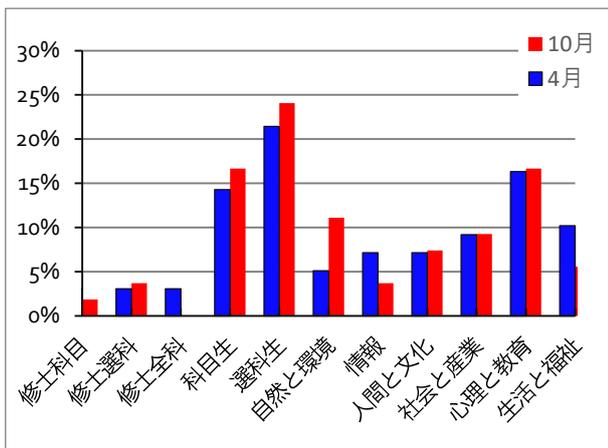
アンケートは配布した用紙に記入していただく形で行い、約160名の参加者のうち105名から回答がありました。

それぞれの項目で、昨年10月と今年4月を比較しながら紹介します。

◇ 入学者の学生の種類について

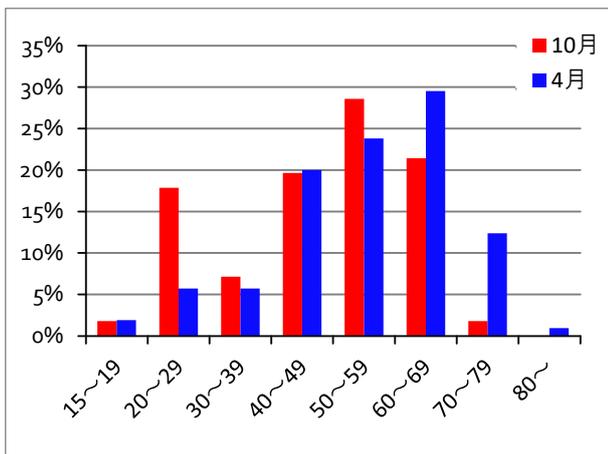
10月に比べ4月は、科目履修生、選科履修生の比率が若干低くなりました。

例年は、選科履修生、科目履修生の比率が高くなる傾向がありますが、10月には参加対象でなかった再入学者が、20%程度入っていることが影響している可能性があります。



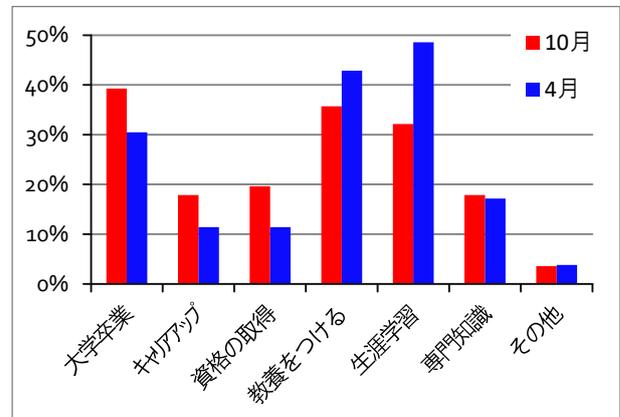
◇ 年齢構成について

10月に比べて年齢層が上がりました。20代・50代が減り、60代以上が増えました。



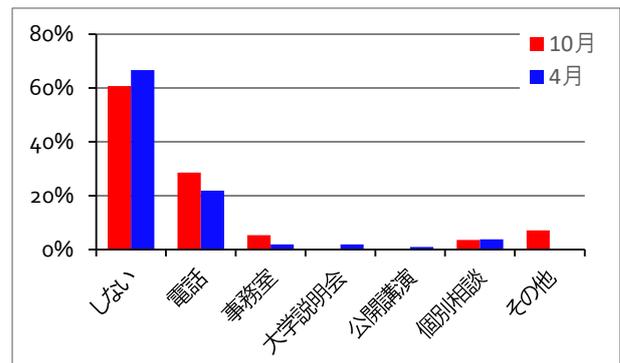
◇ 入学動機について

教養や生涯学習が多くなり、キャリアアップ、大学卒業が減っているのが特徴的です。



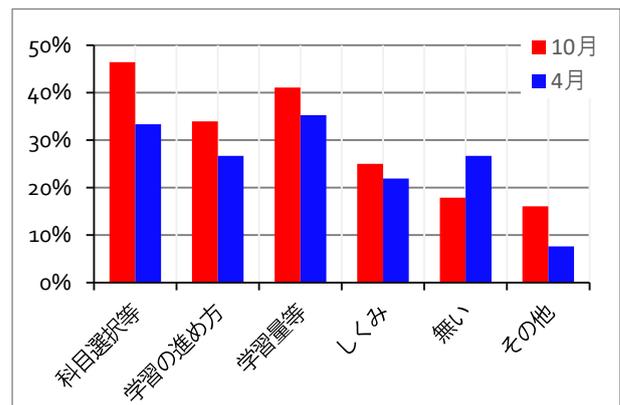
◇ 入学前に、相談問い合わせをしたか？について

コロナ禍以降、「しなかった」という方がとても多くなっています。今回も、相談をした方は少ない傾向が続いています。



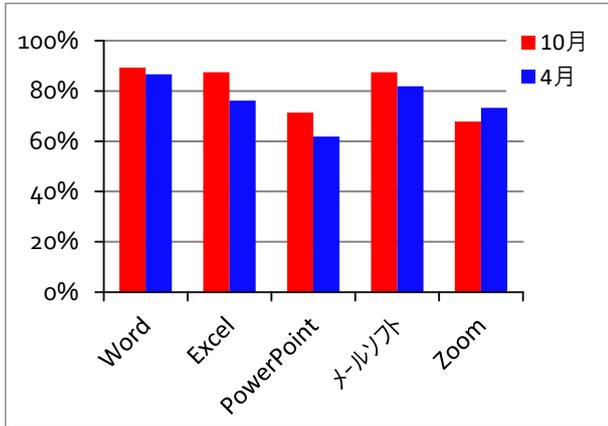
◇ 放送大学でわからないことがあるか？について

全般によく分かっていると思われる解答になりました。10月に比べて無いの回答が若干増えましたが、再入学が20%あることを考えると、初入学の方については、わからないことが多くなっているとも考えられます。



☆ パソコンの習熟度について

ここ数年の傾向として、パソコンの習熟度が徐々に下がる傾向が続いています。10月と比べて、Zoom を除き軒並み低下しています。パワーポイント、エクセルの落ち込みが少し大きいようなので、意図的に覚えていこうとする方の比率が低くなっているように思われます。



今回の自由記入欄は、学習センター(立地・施設)に関心がとても高かったこと、完全な Web 化に対して懸念をもっているような回答が特徴的でした。

学生の年齢層や、サポート等に対しては、期待と不安が交錯している部分があり、経験や目標について、多様な学生像が想像できます。

☆ 自由記入欄

原則として、趣旨が近いものが2件以上あるとき、それらをまとめて記載しました。

- 学習センターは、交通至便で周辺的环境もよく、利用していきたいと思った(6名)
- 気軽に学習ができると思って入学したが、正規の大学の学習で、内容が難しいことが分かった(3名)
- 科目選択が自由なのはよいと思った(2名)
- 放送大学が Web 化しすぎていて利用しにくい(2名)
- 集いに参加してよかった(5名)
- 集いに参加して学ぶ意欲が出てきた(3名)
- 放送大学の学習が楽しみになった(2名)
- 幅広い世代の方が入学されていることに感銘を受けた(2名)
- 学生の年齢層が高すぎると感じた(2名)
- 所長先生、大矢先生のお話が良かった(2名)
- K-サポートがあることがわかって心強い(2名)
- サークルに興味を持った(2名)
- その他、学歌へのコメント(2名)、図書室に関するコメント(3名)がありました。

K-サポートからのお知らせ

皆さま、残暑お見舞い申し上げます。

K-サポートは授業期間以外も次のような活動を予定しております。

- 学習相談チーム……8月24日(日) 科目登録学習相談会
 - パソコンサポートチーム…8月23日(土) パソコン初心者塾
- 詳細はポスターをご覧ください。(K-サポート事務局)



パソコン初心者塾 無料

【対象者】 ネット配信授業の視聴 通信指導提出
単位認定試験練習 科目登録申請
パソコン基本操作 Word Excel PowerPoint A1等 技術交流会・懇親会

【利用のジャンルなど】 ノートパソコン タブレット スマホ(持ち込み不可) (スマホ) 持ち必須

【運営体制】 パソコンサポートチーム (学生ボランティア) 学習センター 技術支援 研修センター

【対象】 放送大学の学生(在)で パソコン検定経験者以外 ※1 放送大学ホームページが利用できない方 ※2 Word/Excel/PowerPointの初心者

【参加料】 無料 申込必要・欠席連絡厳守!

【学習形態】 自主性・主体性を大切に取り組み (必修科目の範囲) 学習センター 基幹 講義参考書に基づいて実施 (単位取得はしない)

【時間・場所・定員等】 14:30開講(15:00開講) 16:00閉講

※時間 → 12:50(昼席) ~ 15:30 昼く休憩・解散自由

※講師 → 技術支援センター 講師等 <原簿簿>

※定員 → 12名 申込みの先着順

申込み後 満席の場合は、事務局からご連絡します!

【日色表】

No	実施予定日	本人申込 満席	学習内容
01	4月29日(日)		聴覚障害の語音口 毎日自由に学習
02	6月7日(土)		
03	6月22日(日)		ネットワーク構築が講義の授業 学習指導書の提出
04	7月7日(日)		単位認定試験練習 学習指導書の提出
7	8月2日(土)		Word/Excel/PowerPoint
05	8月23日(土)		A1 第 1 等 1 級試験対策

【申込方法】 申し込み 授業開始前「パソコン初心者塾」に入学・授業 各日(09:00)に必ず (1 枚の申込用紙で複数回の申込み可能) 申し込み 授業開始前(本人申込) 締切 8/22(日) 締切後 申込みはできません

※上記日色表の本人申込 締切 8/22(日) 締切後 申込みはできません

欠席する際は 早めに学習センター事務局まで連絡すること!

TEL: 045-719-1810

科目登録 学習相談会 のお知らせ

日時: 2025年8月24日(日)
 時間: 13:00~17:00 (受付 16:00 まで)
 場所: 2F 第4講義室
 内容: 2025年度2学期の科目登録に関する
 ご相談、放送大学の学習に関するご
 相談一般
 申込: 直接、2F 第4講義室の相談会場に
 お越しください (予約不要)

- ご注意:
1. 登録手続きのサポートを希望する方は、登録に使用するパソコン、モバイル、スマホ等をお持ちください。
 2. インターネットに接続するため、放送大学が提供する Wi-Fi (「学習センター利用の手引き」p.30) の利用手続き (相談開始後では間に合いません)、個人の Wi-Fi ルーター持参、スマホからのテザリング方法の確認などは事前に各自でご対応ください。



学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせください。神奈川学習センターではお答えすることができません。

■ 神奈川放友会

- ◆1985年創立
『学び、遊び、助け合い、人生を楽しむ』をスローガンに、現在120余名の会員が、積極的に活動に参加しています。
- ◆2025年度2学期行事予定
8月 創立40周年記念行事(高橋和夫先生講演会他)
9月 研修旅行 千葉学習センター
10月 秋季例会(講演)「SQ 機長のお話」
11月 秋の学外活動 「味の素工場見学」
12月 忘年会
1月 冬季例会「ゴシック建築」
3月 花見・卒業祝賀会
- ◆詳細・問い合わせ
<https://kanagawa-hoyukai.jp>

■ うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

- ◆例会は原則、毎月第2・第4水曜日。
- ◆外国人講師英会話(対面/Zoom、10:00~11:30)
(参加費有料、初中級・上級の2クラスに分かれ、各45分)
- ◆Group Study (学生同士、13:30~15:30)
入門 : 対面(春・秋)、Zoom(夏・冬)
初中級: 対面
中級 : 対面(春・秋)、Zoom(夏・冬)
上級 : 対面
- ◆スクラブルデイ: 第2金曜日1時半より対面
- ◆年会費: 現在は無料(通常は年1,000円)
- ◆ホームページ
<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>
- ◆問い合わせ
金子響(Email kaneko-toyomu@outlook.jp)

■ ダンスサークル (社交ダンス)

ダンスはスポーツ! 人生100年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非一緒に踊りましょう。コロナ前には20名でしたが現在は10名、優秀なインストラクターの元で毎回楽しくレッスンに励んでいます。

未経験者大歓迎です! 先ずはお気軽に見学にお出で下さい。

- ◆神奈川学習センター第7講義室
- ◆毎月2回、原則第2と第4火曜13:30~15:30
- ◆会費1,500円/月、年会費1,000円
- ◆ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習
(モダン、ラテン)
- ◆連絡先 三浦直彦 miuranaoh21@gmail.com

■ 神奈川合唱団

- ◆合唱未経験者歓迎
- ◆合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在30余名の学生が合唱を楽しんでおります。
- ◆2025年4月には、国際シニア合唱祭(みなとみらい大ホール)で<喝采><秋桜>を歌いました。
- ◆指導は、発声・歌唱を清水一成先生(プロのオペラ歌手)、ピアノ伴奏を村上千絵先生のご指導で練習に励んでおります。
- ◆場所: 大岡地区センター 音楽室2階
(神奈川学習センターの斜め前のビル)
- ◆練習日: 毎月第2・第4水曜日18:30~20:30
- ◆連絡先: nobukishi0429@gmail.com

■ スペイン語研究会

- ◆目的: スペイン語習得とスペイン語圏の歴史・文化の習得
- ◆活動: 月2回(原則第1・第3水曜日)
- ◆会費: 初級月1,000円、中級月2,000円
- ◆初級: 会員講師により基礎中心
中級: ペルー人講師により会話中心
- ◆その他: スペイン語圏の講演会などに参加
- ◆入会申込み: <https://cdek.yokohama/>
- ◆連絡先: 会長 中田 博久

■ 人間学研究会

- ◆人間の本質的・実質的なあり方について多面的に学習。会員の交流と親睦を図る。
- ◆例会: 毎月第2土曜日12:30~
神奈川学習センター又は大岡地区センター
会員発表 卒業研究・旅行体験・その他
茶話会・外部講師講演・映画鑑賞等
- ◆会誌: 『せせらぎ』発行 年1回10月予定
- ◆ウォーキング: 随時
- ◆連絡先: 片野 mt.dream@jcom.home.ne.jp

■ 放大きながわレク・サークル

- ◆サークル活動: 放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」
- ◆例会: 2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)
- ◆ウォーキング: 2ヶ月に1回、「鎌倉街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。
- ◆その他: 観劇、観光、映画、美術鑑賞等。
上記の各種活動はいずれも自由参加。
一会員募集中(随時申込・受付)一
- ◆問い合わせ: 島田 義治 Tel 090-3907-8384
Email bunsima829@gmail.com

■ 中国語学習会

中国語でチョット挨拶ができればなあとか、前から中国文化に興味あったけどという方。ニーハオ！中国語学習会です。

中国人の先生と和気あいあい、一生懸命勉強しています。初めてでも、昔勉強した人も大歓迎です。一緒に学ぶ仲間がいるのは心強いですね。

第 2・第 4 日曜日の午前と午後、神奈川学習センターで、ぜひあなたも一緒に。

詳細は、下記までお問い合わせください。

elcondor@ra2.so-net.ne.jp：近藤または、
tomomama4213@docomo.ne.jp：細矢まで。

■ 歩・歩の会（地球研）

◆目的：地球科学ゼミ(有馬ゼミ)を発展的解消し、結成されたサークルです。地球科学をベースに自然を学び「人新世 (Anthropocene)」における地球環境危機について考えています。

◆活動：毎月 1 回程度 活動参加の時に 500 円徴収

◆2025 年度活動計画：

池上の蛇紋岩、両神山のチャート、高尾山の小仏層、丹那断層、佐渡島 Geo、初島巡検、箱根火山、西丹沢のガーネット採取など。

◆露頭にご興味のある方はご連絡ください。

◆(代表：吉岡・中澤)

◆Email earth.hoho.kanagawa@gmail.com

■ 韓国語同好会

◆韓国語の日常会話を習得し、韓国放送通信大学日本学科との日韓文化交流を通して日韓相互の生活、歴史、文化への学びを深めることを目的としています。

◆定例会：2 回/月 第 1・第 3 土曜日
講師 姜貞福(カン)先生

◆授業時間：9:20~10:20 初級
(基礎学習：2025 年 6 月から開設)
10:30~11:50 中級
(日常会話を学びます)

◆場所：神奈川学習センター又は大岡地区センター

◆レク活動：近郊の関連地散策、日韓交流会等
興味をもたれた方、是非お仲間にご！

◆問い合わせ：サークル協議会ホームページ
<https://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/index.html>

■ 資格取得研究会

看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、不定期に学習センターで原則土日開催。オンライン開催併用。情報交換が中心。

◆ 会費：500 円(1 年間)

◆ ホームページ：<https://shikakuken.net/>

◆ 問い合わせ：080-5546-7913 (はこぎき)

神奈川サークル協議会

■ 第 36 回 フェスタ・ヨコハマ

<放送大学神奈川学習センター学園祭>

日時：8 月 30 日(土)、31 日(日)

会場：神奈川学習センター

大岡寄席、音楽とダンスのコラボイベント、坂井素思名誉教授による記念講演会、交流会などのイベントが開催されます。各サークル紹介や作品展示も行います。ご参加をお待ちしております！

※8/31 のみ、参加券(1,500 円)が必要です。

参加券のお申込みはウェブサイトから
<https://kcc-ouj.net/>

神奈川サークル協議会 で検索！

神奈川同窓会だより

■ 令和 7 年度ホームカミングデー

日時：8 月 30 日(土) 10:30~12:30

会場：神奈川学習センター第 4 講義室

学習センターと共催の茶話会です。参加費無料、同窓生ほか、どなたでも参加できます。

■ 第 16 回 ミニサロン

Zoom による Web 講演会

日時：8 月 23 日(土) 13:00~15:00

講師：村田カズ子氏

(神奈川同窓会准役員・韓国語同好会名誉会長)

演題：「アートの島、直島」旅行記

申込み：<https://hatoh.net> にて 8 月 18 日締切

お問い合わせは、info@hatoh.net

<3 ページの答え>

筋肉、血液、骨、脂肪など体内組織は磁化率が異なります。マグネターの磁場から受けるべらぼうな磁気力が組織によって異なり、もはや皮膚や骨格で体内に留めておくことはできません。骨が磁気トルクであちを向き、血液循環にかかるローレンツ力のため血管がそっちへ飛んでいきます。恐ろしい予想ですが、磁場から受ける 3 つの力すべてが致命的でしょう。

OUJ 神奈川学習センターだより編集部

伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国

(以上、K-サポート機関紙編集チーム)、垣谷 (K-サポート事務局)、小峯 (学習センター事務局)

神奈川学習センターからのお知らせ

臨時閉所日について（9月～11月）

9月16日(火)、10月7日(火)、10月14日(火)、11月4日(火)は閉所となります。

※月曜・祝日は通常の閉所日となります。

※台風等の悪天候により公共交通機関へ影響が及ぶ場合は、臨時閉所となる場合があります。

※急きよ閉所となる場合は、神奈川学習センターウェブサイト等でお知らせします。

2025年度第2学期のスケジュールについて

神奈川学習センターの利用制限の詳細については、随時ウェブサイト等でお知らせします。

大学院入試(筆記試験)	10/4(土)	※受験者以外入所禁止
入学者の集い	10/5(日)	※学習センター利用制限あり
面接授業(学部)	10/18(土)～1/25(日)	
通信指導提出期限	11/26(水)	
冬季閉所日	12/28(日)～1/5(月)	
単位認定試験	1/18(日)～1/22(木)：記述・併用 1/18(日)～1/26(月)：択一	※学習センター利用制限あり
2026年度第1学期 科目登録	2/13(金)～2/27(金)：郵送 2/13(金)～2/28(土)：Web	
第2学期学位記授与式	3月下旬 (大学本部主催)	

公開講演会のご案内 ◆放送大学神奈川学習センター・横浜市大岡地区センター共催◆

美しい文字を書く 講師 青山浩之先生 横浜国立大学教授

美しく見える文字のポイントを一緒に文字を書いてレッスンします。

日時：11月16日(日) 13:30～15:30

<申込み>

会場：横浜市大岡地区センター 2F 大会議室

10月16日(木)から電話で受け付け

対象：成人

TEL: 045-710-1910 (月曜日・祝日等を除く)

定員：50人(先着順)

参加無料です。ご参加をお待ちしております！

神奈川学習センター周辺の不審行為について

横浜市より、「大岡はらっぱ（神奈川学習センター前の多目的グラウンド）」で器物破損等の事案が発生していると連絡を受けました。もし不審者や不審行為を見かけたら、まず安全を確保し、神奈川学習センターか警察へ通報してください。

入学生募集 入学のチャンスは年2回(4月・10月)!! 資料のご請求は年間を通して受け付けています(無料)

ご家族やご友人で入学を検討されている方や、放送大学に興味があるという方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。大学案内パンフレット、授業科目案内、学生募集要項などをお送りします。気軽にお申し込みください。

放送大学 資料請求

検索



令和7(2025)年度第2学期の募集は9月11日(木)まで。

募集学生：教養学部(全科履修生・選科履修生・科目履修生)、大学院(修士選科生・修士科目生)